

又通知ノ効力ニハ何等支障ナキ者ヲ前提トシ代表者ノミニ限  
ラズ全員ニ対シ会社解散ニ至ル迄ノ至過ヲ説明スヘキニヨリ  
集會方ヨリ徳通セルモ代表者ハ之ヲ肯ビス職場ニ引揚ケタルヲ  
以テ爾ニ集會ヲ促シタルカ職工側ニ於テ之ヲ拒否セル為メ會  
社側ハ己ムナク別説山ノ如キ揚示ヲ為シタリ

左道  
労働者側

六月六日解雇通知ニ先テ職工等ハ會社ノ状況ヲ察知シ寄々  
恨意中ナリシカ具體的対策ナク六日發表セラレタルニヨリ  
翌七日ハ日曜(宣休)ナルモ各自出勤シタルモ工場内ハ  
己ニ未成品の工場外ニ搬出シタル為憤慨セル者モアリシ  
カ随所ニ集會シタルモ全員出勤ナキタメ八日全割ノ會合ヲ  
待ツヲ再議スル申合セヲ為シ退散シタルカ八日ニ至リ四十  
三名出勤セルニヨリ従来請負制度ニ依ル簿案(未完成品ノ

資金記入ノモノ)ヲ整理シ工場主任ニ呈出し九日ヲ要ニ恨意  
ノ上叙上ノ要ホ書ヲ作成シ呈出スルニ至リ

山事案並側

會社ハ大正九年三月創立以來五分ノ配當ヲ二回為セルノミ  
ニテ毎期欠損ニテ現在負債十二万円ニ達シ建物ハ一切日本  
興業銀行ニ担保ニ融資ヲ受ケツ、又高一ヶ月約五ヶ月ノ欠  
損ニテ株主ノ至極ハ絶望ノ状態トナリタルニヨリ更生策ト  
シテ本年四月末株主金ノ払込方ヲ株主ニ通知セルモ僅カニ  
二百九十七円五十錢ノ払込マリタルノミニテ大部分ノ株  
主ハ會社ノ前途ニ危懼ノ念ヲ抱キ不應ノ状況ナルヲ以テ金  
融機關ニ營業持續スル能ハス五月二十六日重役會議ノ決定  
ニヨリ解散スルコト、ナリ今時ニ工場閉鎖ノ已ムナキニ至  
シルカ解雇者ノ手當金支給ノ金策困難ナリシカ漸ク重役間  
ノ支出ニ限リ支給スル申合ヲ為シタルカ経営對會社ノ契